

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330111024	基礎演習A Basic Exercise A	山田・安江・木田・田村		専門	1	必修	1前期

科目の概要

大学での学びの基礎、及び社会人としての教養を身に付けることを意図している。日本語についての理解を深め運用力を高めること、さらには異文化への視野を広げるとともに英語の基礎がためを行うこと、数学的論理的思考力を高め自然や科学についての理解を深めること、さらに新聞等を読むことで社会を考えることが目的である。当科目の学習は、社会人基礎力の土台を形成するとともに、人生を豊かにすることに繋がる。

学修内容	到達目標
① 大学での学びに関する基礎的な知識を理解する ② 日本語についての関心を深め、大学レベルの日本語のクリテラシー能力を身に付ける ③ 大学レベルのプレゼンテーションスキルとは何かを学び、実践できるようにする	① 大学での学びに関する基礎的な知識を列挙できる ② 日本語についての関心を深めて、大学レベルの日本語のクリテラシー能力について説明できる ③ 大学レベルのプレゼンテーションスキルについて列挙し、実践することができる

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	ここで言う「主体性」とは、本講義に積極的に取り組む態度である。たとえば、与えられた課題に対する自習時間を確保し、新しく知る用語や文意を辞書などで調べ、関係のある知識に関して図書館などで調べるなどが挙げられる。(予習)
	働きかけ力	
	実行力	ここでの「実行力」とは、「主体性」をさらに具体的に実行にうつす力のことである。たとえば、自学自習をインターネットから得られる情報や図書館にある資料を効果的に活用して深め、新たな知見を得ることなどが挙げられる。(予習)
考え抜く力	課題発見力	本講義で発揮したい「課題発見力」の例は、本講義で学んだ内容に関して、これまで学んできた学習内容を踏まえ、自分なりの問題意識を持つことが出来ることなどが挙げられる。
	計画力	
	創造力	講義で学んだ内容を、自らの問題として捉え直し、自分なりの課題を新たに立て、その解決策をチームで探ることが出来る力を「創造力」とする。(復習)
チームで働く力	発信力	あ課題発見力を駆使することによって生み出した自分なりの問題意識を、ディスカッションやプレゼンテーションを通じて表現することが出来るスキルなどが、ここでの「発信力」の一例である。
	傾聴力	ディスカッションやプレゼンテーションにおける他者の表現を正確に聴き取り、その文意だけでなく、なぜそのような表現を用いたのかといった背景にまで、関心を持つことが出来る態度を「傾聴力」とする。
	柔軟性	
	情況把握力	
	規律性	以上の学習を習慣づけ、計画的に実践することができる態度を「規律性」とする。(復習)
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：加藤万也ほか『子どもと向き合うために』愛知学泉大学出版会、2015年、1,010円（ISBN978-4-901811-01-9）
 参考文献：井下千以子『思考を鍛える大学の学び入門—論理的な考え方・書き方からキャリアデザインまで』慶應義塾大学出版会、2017年、1,296円（ISBN-13: 978-4-7664-2412-6）

他科目との関連、資格との関連

「基礎演習A」は、学科共通科目のコア科目の一部であり、本学における学修の礎となる。また、「基礎演習A」は、その後履修する「基礎演習B」「基礎演習C」「基礎演習D」及び「専門演習A」「専門演習B」「専門演習C」「専門演習D」の基盤となる科目である。

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> 日常的に新聞や文学作品等を読むこと。 授業の前にテキストの該当範囲を読み（予習）、授業後は学習内容をノートにまとめておく（復習）。 社会の出来事から課題を見つけ、議論するなど、これからの社会に生きる基礎を自ら学ぶことを大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> 大学生活全体を展望し、基礎となる力を養うという意識をしっかりと持ってほしい。 授業に積極的に取り組み、課題は必ず提出してほしい。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
		レポート		50	①		✓	○どれだけ効果的なプレゼン資料を作成したかを評価する（10点×4） ○振り返りレポート（10点）
					②		✓	
③					✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			40	①	✓	○話し方のテクニックがどれだけ身に着いたのかを評価する ○プレゼンの内容がアカデミックレベルに達しているかどうかを評価する （10点×4）		
				②	✓			
	③			✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	（主体性）必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修することができる （実行力）手順や方法を考えて、確実に課題をやり遂げることができる。 （課題発見力）事実に基づいた情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。 （創造力）固定概念に捉われないことと、いろいろな方向から考えることができる。 （発信力）聞き手にわかりやすく、話すポイントを整理して発表することができる。 （傾聴力）グループワークで、人の意見を確認し、自分の意見を述べるすることができる。 （規律性）自分の都合を優先することなく、集団のルールを守ることができる。		
				②	✓			
				③	✓			
総合評価割合		100						

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>○ 小テスト、課題テストで80%以上得点し、レポート、提出物の内容が充実している。</p> <p>○ 課題発表や小テストでしっかりした説明ができ、自分なりの主張が出来る。</p> <p>S(秀) 自ら学修課題を見つけ、グループ活動でも積極的に発言できている。</p>	<p>○ 小テスト、課題テストで70%以上得点し、レポート、提出物の内容が適切である。</p> <p>○ 課題発表や小テストで、内容理解ができ、それを説明することが出来る。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 履修と資格 自己紹介 (担当：木田、田村、 安江、山田)	講義、演習	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習) 大学の1年目で大切なことについて調べてまとめる。 (復習) 講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	主体性 傾聴力
2	建学の精神 社会人基礎力 GPA (担当：安江)	講義、集団活動	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションできる。	(予習) 大学の1年目で大切なことについて調べてまとめる。 (復習) 講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	課題発 見力 傾聴力
3	正しい日本語表現① 主語・述語の整った文章を書く (担当：山田)	講義、意見交換、 演習	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連した短文作成ができる。	(予習) 配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。 (復習) 講義で学んだ内容を振り返り、ワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力
4	正しい日本語表現② 修飾・被修飾の整った文章を書く (担当：山田)	講義、意見交換、 演習	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連した短文作成ができる。	(予習) 配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。 (復習) 講義で学んだ内容を振り返り、ワークシートに取り組む。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力
5	レポートの書き方① 「レポート」作成に必要な技法を学ぶ (担当：山田)	講義、意見交換、 演習	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。与えられたテーマに沿って、ひとまとまりのレポートが書ける。	(予習) 配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。 (復習) 3回の講義で学んだ内容を振り返り、レポートにまとめる。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力
6	コミュニケーションスキル① ICT(含むメールのマナー) (担当：木田)	講義、意見交換、 演習	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてまとめることができる。	(予習) 大学の1年目で大切なことについて調べてまとめる。 (復習) 講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力
7	レポートの書き方② 作文と論文の違いを知る (担当：木田)	講義、意見交換、 演習	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてレポートを記すことができる。	(予習) 大学の1年目で大切なことについて調べてまとめる。 (復習) 講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	主体性 課題発 見力 傾聴力
8	プレゼンテーションスキルの育成① プレゼンテーションとは何か知る (担当：木田)	講義、意見交換、 演習	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてプレゼンテーションできる。	(予習) プレゼンに向けて情報収集 (復習) プレゼンおよびディスカッションの自己評価	180	主体性 課題発 見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	コミュニケーションスキル② 音楽表現を通して培う子どもとの関係づくり (担当：安江)	講義、意見交換、演習、課題のフィードバック、ペアワーク、グループワーク	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてディスカッションや音楽表現ができる。	(予習) 大学の1年目で大切なことについて調べてまとめる。 (復習) 講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
10	レポートの書き方② 音楽的な視点から記すレポートについて (担当：安江)	講義、意見交換、演習、課題のフィードバック、ペアワーク	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてレポートを記すことができる。	(予習) 大学の1年目で大切なことについて調べてまとめる。 (復習) 講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
11	プレゼンテーションスキルの育成② 音または音楽に焦点をあてて (担当：安江)	講義、意見交換、演習、課題のフィードバック、ペアワーク	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについて音や音楽に焦点をあてたプレゼンテーションができる。	(予習) プレゼンに向けて情報収集 (復習) プレゼンおよびディスカッションの自己評価	180	主体性 課題発見力 傾聴力
12	コミュニケーションスキル③ 保育のマナーについて (担当：田村)	講義、意見交換、演習	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマにコミュニケーションできる。	(予習) 大学の1年目で大切なことについて調べてまとめる。 (復習) 講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
13	レポートの書き方④ 保育の振り返り方について (担当：田村)	講義、意見交換、演習	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてレポートを記すことができる。	(予習) 大学の1年目で大切なことについて調べてまとめる。 (復習) 講義で学んだ内容を発展的に調べてまとめる。	180	主体性 課題発見力 傾聴力
14	プレゼンテーションスキルの育成③ 保育者の協働性について (担当：田村)	講義、意見交換、演習	講義で学んだ内容の要点が理解でき、加えて自分なりの問題意識を表すことができる。学んだ内容に関連したテーマについてプレゼンテーションすることができる。	(予習) プレゼンに向けて情報収集 (復習) プレゼンおよびディスカッションの自己評価	180	主体性 課題発見力 傾聴力
15	プレゼンテーションスキルの育成④ 「基礎演習A」を振り返って (担当：山田)	プレゼンテーション、意見交換	指示範囲内の体裁および内容でプレゼンテーションを実施する	(予習) 配布プリントを熟読した上でワークシートに取り組む。 (復習) プレゼンおよびディスカッションの自己評価	180	主体性 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330112025	基礎演習B Basic Seminar II	山田・安江・ 木田・A		専門	1	必修	1後期

科目の概要

・これから学んでいく大学の講義・演習について、具体的な活動を伴った学修をし、思考能力、表現能力の基礎を身につける。保育士や幼稚園教諭さらには小学校教員として身につけておくべき基礎的な考え方、行動を学習する。

学修内容	到達目標
① 「話すこと」「書くこと」「読むこと」「演じること」などの表現力や論理的な思考力の基礎を学ぶ。 ② 聞き手を想定して、資料を活用しながらプレゼンテーションする基礎を学ぶ。 ③ 話したり活動したりを通して、子どもの発達段階を考慮した対応を学ぶ。	① 相手に伝わる話し方・書き方や筋道の通った考え方・演じ方の基礎ができる。 ② 順序よく話したり、資料を効率的に提示したりして、簡単なプレゼンテーションができる。 ③ 想定した場面において、発達段階に応じた言葉の選び方や演じ方、接し方ができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例	
前に踏み出す力	主体性	基礎的な子ども対応を理解したうえで、子どもの学びにつながる活動を自分なりに考え、言葉や動きを工夫しながら目標達成につなげることができる。
	働きかけ力	他の学生の活動を見て前向きに意見を述べたり、グループで協力して活動をまとめたりできる。
	実行力	子どもを目の前にした時のことを想定して、工夫して話したり演じたりすることができる。また、資料も個性的に作成し提示することができる。
考え抜く力	課題発見力	子どもの発達段階を理解したうえで、どのように工夫すれば、子供にとっての有効な教育・保育ができるのかを考えることができる。また、参考文献を読み取り、活動に活かせる要素を見出すことができる。併せて、他の学生からも学ぶことができる。
	計画力	グループや個人の活動発表に向けて、子供に対応することを想定して計画できる。
	創造力	創造力を発揮して、保育・教育現場に応じた支援を考え、具体的に動くことができる。
チームで働く力	発信力	自ら調べ追究した課題を、説得力を持ってプレゼンテーションできる。
	傾聴力	講義内容や、他者の発表を聞き、積極的に質問や指摘をすることができる。
	柔軟性	活動の条件に応じて、計画を推敲したり他の学生の意見を取り込んで言動を変更したりできる。
	状況把握力	子どもや保護者を想定して、様々な状況を考慮しながら活動設定できる。
	規律性	子どもの前に立つことを想定して、身だしなみや所作・言葉遣いを整えたり、時間を守ったりすることができる。また、示された課題を期限内に提出することができる。
	ストレスコントロール力	分からないことがあれば、その場で質問したり、納得できない事態になったら相談したりできる。

テキスト及び参考文献

テキスト：加藤万也ほか編著「子供と向き合うために」（2015、愛知学泉大学出版会）

他科目との関連、資格との関連

「基礎演習B」は学科共通科目のコア科目の一部である。「基礎演習A」で獲得した知識・技能を活用する。また、「基礎演習B」は、その後に履修する「基礎演習C」「基礎演習D」の基盤となる科目である

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・授業に必要なものを確実に準備する。 ・予習・復習を確実にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ活動では、特に欠席をしないようにする。 ・学生の状況（履修・理解等）によって、授業計画は変更することがある。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①				
				②				
				③				
	平常評価	小テスト		0	①			
					②			
					③			
		レポート		50	①		✓	①授業で学んだことを、複数の観点で重要事項を落とさずまとめることができる。（ 評価は次の条件に照らして行う。（10点×4） （期限内の提出）（要点の整理）（独自の考え）（講義内容を踏まえた具体性） ②授業で学んだことについて、振り返りシートに的確に要点を整えて最終まとめるができる。（10点）
					②		✓	
					③			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）			40	①	✓	・計画に則り活動発表の程度を、次の条件に照らして評価する。（10点×4） （制限時間の遵守）（話し方・表情）（独自の工夫）（教具・小道具の扱い） （チームワーク）		
				②	✓			
				③	✓			
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）活動を自分なりに考え、言葉や動きを工夫しながら実践できる。 （実行力）工夫して話したり演じたりし、資料も個性的に作成することができる。 積極的に行ったりできる。 （課題発見力）どのように工夫すれば、有効な教育・保育ができるのかを考えることができる。また、参考文献を読み取り、活動に活かせる要素を見出すことができる。 （創造力）創造力を発揮して、保育・教育現場に応じた支援を考え、具体的に動くことができる。 （発信力）課題に対して、学修の内容を踏まえて的確に発表できる。 （傾聴力）講義内容や学生の活動に対して積極的に質問や指摘をすることができる。 （規律性）身だしなみや所作・言葉遣いを整え、時間を守ることができる。課題を期限内に提出することができる。			
			②	✓				
			③	✓				
総合評価割合			100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>・S評価は、現場で通用する表現能力を発揮し思考判断ができた場合であり、A評価は、まだ不十分な点はあるものの、S評価に近づこうとする態度が顕著にみられる場合。</p> <p>・将来の目標をイメージしグループ内において、リーダーシップを進んで発揮し、決められたルールを守り他者に影響を与える行動をしている。</p> <p>・教育者・支援者の行為が、こどもの成長と発達に及ぼす影響だけではなく、教育に携わることの社会的責任の重さを理解した行動をしている。</p>	<p>・B評価は、自らの表現能力を発揮し思考判断が、まだ不十分であることを認識しており、それを克服しようとする態度がある程度見られる場合。</p> <p>・グループ学習の組織、展開について理解した行動をしている。</p> <p>・教育者・支援者の行為が、こどもの成長と発達に及ぼす影響を理解した行動をしている。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	<授業のガイダンス> ○授業の狙い・進め方を理解する。 ○授業への抱負を述べる。 (山田・木田・安江・A)	講義 発表	○説明を理解し、15回の授業の流れがイメージできる。	(予習) シラバスを読んで、授業の概要をつかむ。 (復習) ・自己紹介文の記述	120	主体性 傾聴力
2	○図書館の利用方法を理解し、本を検索する。 ○教科書を参考に、文献検索の方法を理解する。 (山田・木田・安江・A)	講義 演習	○自身の資格取得に関わるカリキュラムが理解できる。 ○図書館の配下を理解し、確実に絵本検索ができる。	(予習) ・図書館の位置や利用規程を確認する。 (復習) ・活動を振り返り、要点をノートにまとめる。	120	主体性 課題発見力 傾聴力
3	○読み聞かせの基本を理解し、操作をしながら声に出して読む。 ○テーマに沿った参考図書を検索する。 (山田)	講義 演習	○読み聞かせの基本を踏まえ、絵本の読み聞かせができる。 ○キーワードに関連したテーマを見つけ、参考図書を借りることができる。	(予習) ・絵本の音読練習をする。 (復習) ・活動を振り返り、要点をノートにまとめる。	120	主体性 課題発見力 傾聴力
4	○参考図書から読み取ったことをまとめ発表の準備をする。 (山田)	講義 レポート作成	○参考図書を読み取り、要点をまとめ、話す順番を整えることができる。 ○発表資料の構成ができる。	(予習) ・参考図書から読み取ったことの要点をまとめる。 (復習) ・話す順序を考え、レポートと資料を完成する。(googleclassroomに提出)	120	主体性 課題発見力 傾聴力
5	○参考図書から読み取ったことを発表する。 (山田)	発表 発表を踏まえた要点整理の方法の解説	○参考図書から要点をまとめることができる。 ○読み取ったことを基に自分の考えを要領よく述べることができる。	(予習) ・発表練習をする。 (復習) ・活動を振り返り、要点をノートにまとめる。	120	主体性 課題発見力 傾聴力
6	○参考文献を読み、基本に則ったレポートの書き方を理解する。 (木田)	講義 演習	○キーワードを抜き、簡単なレポートの構成ができる。	(予習) ・指示された参考文献を読む。 (復習) ・レポートの概要をまとめる。	120	主体性 課題発見力 傾聴力
7	○概要を基に、序論・本論・結論の整ったレポートを書く。 (木田)	学生の作成した概要の解説 グループ討議	○基本に則ったレポートを書くことができる。 ○他の学生の概要について、課題を見出すことができる。	(予習) ・まとめた概要説明の練習をする。 (復習) ・レポートを完成させる。 (googleclassroomに提出)	120	主体性 計画力 発信力
8	○レポートを簡潔に発表する。 ○他の学生の発表を検討する。 (木田)	発表 討議 解説	○大切な言葉を落とさずに、基本に則ったレポートを書くことができる。 ○他の学生のレポートが批評できる。	(予習) ・発表練習をする。 (復習) ・活動から学んだことをノートにまとめる。	120	主体性 課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	○手遊び等子どもたちが楽しめる表現活動を計画する。 (安江)	講義 グループワーク	○チームで協力して活動計画を立てることができる。 ○園児が楽しく活動できる工夫をすることができる。	(予習) ・手遊びの種類を調べる。 (復習) ・計画書を完成させる。 (googleclassroomに提出)	120	主体性 課題発 見力 傾聴力
10	○計画書を基に、個人やグループで練習する。 (安江)	計画書の解説 練習 グループ討議	○チームで協力で話し合いを進めることができる。 ○話し合いにより、柔軟に計画書を修正することができる。 ○園児が楽しく表現活動できるテクニックを練り出すことができる。	(予習) ・表現活動の練習をする。 (復習) ・グループで練習をする。	120	主体性 課題発 見力 傾聴力
11	○手遊び等の表現活動を、子どもを目の前にした想定で発表する。 (動画撮影) (安江)	グループ活動の解説 発表 討議	○子供が楽しめるような表現活動ができる。 ○グループで各自の役割を果たし発表できる。	(予習) ・発表練習 (復習) ・活動を振り返り、記録をまとめる。	120	主体性 課題発 見力 傾聴力
12	○気になる子供への対応、保護者対応への基本を理解する。 (A)	講義 演習	○気になる子どもについて、その症状を理解し対応の基本が場面を限定してできる。 ○保護者対応について基本を理解し、場面を限定して演じることができる。	(予習) ・教科書を読む。 (復習) ・対応の基本をノートにまとめることができる。	120	主体性 課題発 見力 傾聴力
13	○場面を限定して子ども対応・保護者対応を演じる。 (A)	講義 グループ演習(動画撮影)	○場面演習が、実際の場面を想定しながらできる。 ○グループで批評し合うことができる。	(予習) ・想定場면을練習する。 (復習) ・活動を振り返り、記録をまとめる。	120	主体性 課題発 見力
14	○発表を振り返り、対応できることと課題を見出す。 (A)	発表の振り返りの解説 レポート執筆	○活動の振り返りが話せたり書いたりできる。 ○活動の評価のポイントを考えることができる。	(予習) ・活動の振り返りが説明できるようにする。 (復習) ・活動を振り返り、記録をまとめる。 (googleclassroomに提出)	120	主体性 課題発 見力
15	○活動を振り返りながら、学んだことを文章でまとめる。 (山田)	発表 執筆	○レポートのまとめ方の基本が文章に書いてまとめられる。 ○園児の思考の特徴や児童の活動に有効な手立てをまとめることができる。	(予習) ・授業の振り返りをする。 (復習) ・活動を振り返り、記録をまとめる。 (googleclassroomに提出)	120	主体性 課題発 見力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力